

市民の皆さんから地域公共交通の 要望が沢山寄せられています。

長浜町では下記の署名が200人を越えて寄せられました。そこで市民団体が、この声を市役所に届け、早期に実施をして頂きたいと申し入れを、下記の日程でおこないます。署名を届けます。多くの方の参加が呼びかけられています。皆さんの声と願いを直に伝えましょう。

日時 11月14日（火曜日） 午前10時から
場所 長浜支所 2階会議室

要 望 書

大洲市長 清水 裕 様

長浜町の公共交通を考える会
代表 武内 勝利
連絡先 0893-52-1551

長浜町内を走るぐるりんバスを実施してください。

高齢化が進行している中で、長浜町における地域公共交通の確保は切実です。「長浜から、大洲方面に土日バスがない。」「小浦から五郎を経由して大洲病院への路線を確保してほしい。」「山間地から幹線道路へアクセスができるように。」など要望は多様です。

当面、小浦団地から沖浦を経て、赤橋を渡り、病院、買い物、なぎさの湯、金融機関など経由して、大和橋から下須戒を通る小型ぐるりんバスを走らせてください。是非実現して、市民の足の確保、買い物弱者への対応、病院へ足の確保を要望するものです。

署 名

名 前	住 所

決算委員会で明らかになったこと

○大洲市の空き家状況について ・ ・ 総数2065戸

平成27年度、28年度地元区長さんをお願いして調査した。また現場に出向いて、電気、電話などを調べた結果、大洲市内全域に空き家が2065戸であることが報告されました。A～Eで5段階評価をしたが、危ないが2割、使えそうが半分だった。

○商店街のカラー舗装について

JR大洲駅から近藤呉服店付近まで435m実施、3200万円。今後、さらに延長して、国道まで（416.5m）舗装するという事です。

肱川治水対策特別委員会の設置について

8月議会で肱川治水対策特別委員会の設置が議員提案でおこなわれ、議決されました。梅木かつこ市議は、以下の理由で設置に反対討論をおこないました。

梅木かつこ市議の反対討論

肱川の治水対策は、市民の命、暮らし、財産を守るために必要です。今、上流の山の倒木の処理が大きな問題になっています。これが川を堰き止め、洪水の原因となるからです。上、中、下流をあわせた治水対策、大規模洪水に対する対策など、さらに水質をよくする努力、政策、取り組みが求められます。

こうした立場からの調査研究は要ると思います。しかし、本委員会の中間報告は山鳥坂ダム建設を進め、洪水吐きトンネルも認めるものです。よって、設置に反対するものです。

理由は、山鳥坂ダム建設は肱川の集水に対する規模の点でも数%しかなく、建設後の山際両脇の崩落の危険の問題からも建設に見合う効果は期待できません。洪水吐きトンネルは、1度市民に説明しただけで、疑問点に十分答えることもなく着工され、今に至っても放流操作方法も市民に説明されていません。

かつて、鹿野川ダムの放流の仕方が問題になりました。今回は、計画的ダムの放流で、洪水を軽減できたと18号台風での報告がされています。操作方法は、市民にとって大きな問題です。以上の理由で反対をいたします。